

2022（令和4）年度仏教婦人会総連盟活動方針・事業計画

仏教婦人会綱領

わたくし しんらんしょうにん おし みちび
私 たちは 親鸞聖人のみ教えに 導かれて
ひと しあわ ねが あみだによらい ところ
すべての人びとの 幸せを願われる 阿弥陀如来のお心をいただき
じた ところゆた い しゃかい
自他ともに 心豊かに生きることのできる社会をめざし
あゆ すす
ともに歩みを進めます
ちようもん たいせつ
一、お聴聞を大切にいたします
なもあみだぶつ わ
一、「南無阿弥陀仏」の輪をひろげます
ほとけ ねが い かた
一、み仏の願いにかなう生き方をめざします

1. スローガン

念仏に生かされるよろこびを行動へ

2. 活動方針

ご親教「念仏者の生き方」のお心をいただき、「仏教婦人会綱領」の実践に努める

3. 重点目標

- (1) 新たな日常の中で、「仏教婦人会綱領」を唱和し実践する。
- (2) 「子ども・若者ご縁づくり～キッズサンガをさらに～」に積極的に取り組む。
- (3) 御同朋の社会をめざす運動(実践運動)に積極的に取り組む。
- (4) 現実の社会問題である平和・差別・環境問題に積極的に取り組む。
- (5) 被災地の継続的支援活動を実施すると共に、災害に対する意識啓発を行う。
- (6) 恵信尼公の顕彰に努める。
- (7) 親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要記念「第 17 回世界仏教婦人会大会」に向けた準備を進める。
- (8) 「浄土真宗のみ教え」を唱和し、親鸞聖人の生き方に学ぶ。

4. 各委員会事業計画

①組織委員会：総会・交換学生・規約の見直し等に関すること。

- ・「仏教婦人会綱領」の周知に努める。
- ・単位会・組連盟の結成を奨励し、充実に努める。
- ・単位・組・教区・総連盟において若婦人部門の充実に努める。
- ・ホームページを運営し、組織拡充に努める。
- ・休会単位会へのはたらきかけ。
- ・交換学生プログラムのあり方を検討する。

②ダーナ委員会：ダーナやビハーラ活動等に関すること。

- ・ダーナ精神をもととした、さまざまな活動の実践を奨励する。
(ダーナの日は2月第2日曜日。ユニセフの活動<ブータンの教育支援>に対して指定寄付を継続)
- ・貧困問題の克服に取り組む。
- ・被災地の支援活動に積極的に取り組むと共に、災害に対する意識啓発を行う。

③研修委員会：各種研修会等に関すること。

- ・「仏教婦人幹部研修会」「若婦人中央研修会」を実施する。
- ・「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)研修会」「若婦人聞法のつどい」を教区で実施する。
また、単位・組において実施を奨励する。
- ・教区仏婦連盟と連携し、オンライン研修の導入を進める。

④めぐみ委員会：機関誌『めぐみ』の編集・発刊、教材等に関すること。

- ・機関誌『めぐみ』を利用した学習と購読を奨励する。
- ・各種教材の活用を奨励する。
- ・『めぐみ』の新規購読者を増やす。
- ・「単位会まとめて購読」を奨励する。

5. その他

①次世代の育成

- ・ご親教「私たちのちかい」・「浄土真宗のみ教え」をいただき、次世代にお念仏を相続する。
- ・帰敬式の受式を奨励する。
- ・ご本尊を子や孫におくり、ともに朝夕の礼拝を呼びかける。
- ・仏前での「初参式」「成人式」「結婚式」の実施を奨励する。
- ・「本山はたちの集い(仮称)」への参加を奨励する。

②その他の活動

- ・開教使育成に対して支援する。
- ・海外開教区の婦人会との交流を深める。
- ・恵信尼さまの日(4月25日)を「平和の日」と定めた趣旨を徹底し、平和学習を奨励する。
- ・千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要(9月18日)参拝を奨励する。
- ・如月忌法要(2月7日)をお勤めする。
- ・国際連合で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」について学ぶ。

以上

